

自己評価・外部評価 評価表（別紙1）

事業所名：定期巡回ステーション明日の樹

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない							
I 構造評価(Structure)【適切な事業運営】														
(1) 理念の明確化														
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている			○		事業所独自の理念はあるが、 「心身の維持の回復」を実現す る為の理念とはまた違う所もあ る。						
(2) 適正な人材の育成														
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している			○		個々により内容を十分に認識 出来ていない職員もいると思う が、職員に周知はしている。						
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している		○			技術向上の為、月に1回の事 業所内研修は行っている。社 外研修も1年に1回は職員全員 に参加してもらっている。						
		4	管理者は、サービス提供時の職員の 配置等を検討する際、職員の能 力が最大限に発揮され、能力開発 が促されるよう配慮している		○			その日の出勤状況によっては 配慮出来ない日もある						
②	介護職・看護職間の 相互理解を深めるた めの機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等 の特性・状況に係る相互の理解・認 識の共有のための機会が、十分に 確保されている		○			週1回のカンファレンスを行い そこで共有する機会を確保し ている。						
(3) 適切な組織体制の構築														

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
①	組織マネジメントの取 り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟な サービスを提供するため、最適且 つ柔軟な人材配置(業務・シフトの 工夫)を行っている					ご利用者様の希望する時間を 調整出来ていない事もある。 柔軟な人材配置を行うと不公 平感があると思う職員もいる。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている	○				半年に1回の開催は出来ている。助言等はサービス提供に反映させている	定期的な開催されており、議事録もまとめられている。今後も意見を取り入れて取り組んで行ってもらいたい。	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備										
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				何かあった際等関係機関と情報共有が出来るように、出来る限り迅速に対応している		
(5) 安全管理の徹底										
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）			○		災害時、緊急体制の構築は出来ているが夜間訪問時の防犯対策は懐中電灯しかない。施設敷地には防犯カメラはついている。		
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				利用者カルテ等は鍵付きキャビネットに保管されており適切な取り扱いは概ね出来ているといえる		
Ⅱ 過程評価(Process)										
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供										
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成										
①	利用者等の24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている			○		アセスメントは提案しているが実際の所、外部サービスを利用されている方もいるため利用者様に合ったサービス時間に提供出来ているかは何とも言えない所です。こちらのペースで展開しないようには心掛けています。	利用者の生活のリズムを把握し、適切に対応出来ていると思う。	
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている					両者で相談しながらアセスメントを行っているつもりだが、共有出来ていない事もある		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			心身機能の維持に軸足を置いた計画の作成は出来ているが、回復は利用者様の状態に応じて計画変更し作成している。	利用者と身近に接している事により、ニーズが把握されており、適正な計画が作成されている。
③	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			個々にもよるが、現状の状態、今後の変化を予測し適切なリスク管理を実現する為の計画の作成は行っている。	主治医との連携が図れており、適宜計画が見直され「未来志向型」の計画となっている。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				体調や状況の変化があった場合は随時対応・訪問(適宜様子を伺う等)対応している。	利用者の状態に合わせて柔軟に対応されている
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				月1回のモニタリングを実施している	
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている		○			専門性に合わせたサービス提供をそれぞれが行っている	
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			ラインワークスや口頭にてほぼ出来ている	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			説明は行っているものの十分に理解されていない利用者様、ご家族様もいる。	サービス担当者会議や日々の情報共有の中で実施出来ている
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画書の説明は行っている	サービス担当者会議を通じて実施出来ている
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				家族等へ報告、相談行っている	報告書などで適宜実施されている
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				利用者様に変化があった場合は適宜ケアマネージャに連絡するようにしている	報告書や適宜の電話報告等にて共通理解を図り実施出来ている
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			必要に応じて提案は行っている	報告書等で意見を頂いており、ケアプランに反映出来ている
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○					サービス担当者会議を通して実施出来ている
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○			サービス担当者会議等にて、依頼や提案を行っている	
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			退院、退所等の際に事前に状況変化がないか確認し、それでもわからない情報があれば病院、施設等に確認は行っている。それを職員全員で情報共有している。それぞれの部署とも連携を図っている。	
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)			○		それぞれのケースには対応できているが包括的なサポート体制の構築までは出来ていない。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			参加出来なかった方にも、議事録、資料等は郵送している	参加出来なかった際も議事録が郵送されており、情報共有が出来ている
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		ホームページで広報周知されているのみで積極的には行えてない	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		職員によってばらつきはあると思うので十分に理解されているとは言えない	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			可能な限り要望を受けるようにはしている	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている <u>（※任意評価項目）</u>				○	サービスの展開に終始するのみで、そのような活動までには至ってないのが現状	
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			達成度合いが入居者ごとに異なる事がある	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			何か合った時は随時訪問が出来、利用者様も安心して頂いている。	